



# 2013 年度第 2 回エコトピア科学シンポジウム 公開ワークショップ 環境政策と生物多様性・生態系 サービスの評価の考え方

日時: 2013 年 12 月 12 日(木)13:30-18:00

場所: 名古屋大学 野依記念学術交流館

今日、生物多様性の喪失や生態系サービスの劣化が世界的な課題となっています。環境政策分野では、様々な生物多様性評価手法が適用されてきました。本ワークショップでは、環境政策分野での検討を念頭に、生物多様性・生態系サービス項目の網羅的把握や空間的把握、生態系サービスの需要と供給、各生物多様性や生態系サービス間のトレードオフなどを視野にいれ、国内外の最新の政策・研究動向についての発表を行います。

言語は日本語(一部英語発表には通訳が入ります。)

## プログラム

- 13:00- 開場
- 13:30-13:40 開会挨拶 田中信夫 エコトピア科学研究所 所長
- 13:40-14:20 生物多様性オフセットは開発の環境影響を低減可能か?  
(Can biodiversity offsets reduce the environmental impacts of development?)  
Philip Gibbons 上級講師 (オーストラリア国立大学)
- 14:20-14:50 生態系サービス需給バランスから見る生態系への依存度と影響度  
町村 尚 准教授 (大阪大学 工学研究科)
- 14:50-15:20 米国カリフォルニア州における広域・長期的な生物多様性保全の政策動向  
Junko Hoshi 州野生動物行動計画 2015 年改訂プロジェクト副主任 (米国カリフォルニア州野生動物保全局)
- 15:20-16:20 ポスターセッション\* (休憩: 60 分)
- 16:20-16:50 気候変動対策と生物多様性保全のトレードオフ解消に向けた生態系サービス評価  
伊藤 昭彦 主任研究員 (国立環境研究所)
- 16:50-17:20 生物多様性の評価、そして創出と管理 -東北大学生態適応センターによる生物多様性オフセット実証実験  
菊池 佐智子 研究員 (茨城大学 地球変動適応科学研究機関)
- 17:20-17:40 環境政策における生物多様性・生態系サービスの総合評価 -名古屋市・豊田市の事例  
林 希一郎 教授 (名古屋大学 エコトピア科学研究所)
- 17:40-18:00 総合討論

11 月 20 日現在

### \*ポスターセッション発表者 (五十音順)

浅野邦史 (名古屋昆虫同好会会員)	Ambika Dhakal (名古屋大学研究員)	伊東英幸 (日本大学助教)
井上晶次 (名古屋昆虫同好会会員)	大場真 (東京農業大学准教授)	野呂達哉 (なごや生物多様性センター専門員)
橋本啓史 (名城大学助教)	長谷川泰洋 (名古屋大学特任助教)	藤井実 (国立環境研究所主任研究員)
吉野奈津子 (名古屋大学技術職員)	米倉佑亮 (名古屋大学研究員)	庄山紀久子 (国立環境研究所特別研究員) 他

### お申込み・お問い合わせ先

参加ご希望の方は **12 月 10 日(火)まで**に下記まで、電子メールにてご連絡ください。定員は約 100 名。先着順。  
連絡先: 名古屋大学 エコトピア科学研究所 林研究室

e-mail: [eco1212\(at\)esi.nagoya-u.ac.jp](mailto:eco1212(at)esi.nagoya-u.ac.jp) (at)に@をいれてください。

入場無料

主催: 名古屋大学 エコトピア科学研究所

注: 本ワークショップは、先端研究助成基金助成金(最先端・次世代研究開発支援プログラム)を活用しています。

## 会場案内

### 野依記念学術交流館



## アクセス

- 地下鉄東山線の場合  
「本山」駅下車、名城線乗り換え「名古屋大学」駅下車 2 番出口より徒歩 5 分
- 地下鉄鶴舞線の場合  
「八事」駅下車、名城線乗り換え「名古屋大学」駅下車 2 番出口より徒歩 5 分